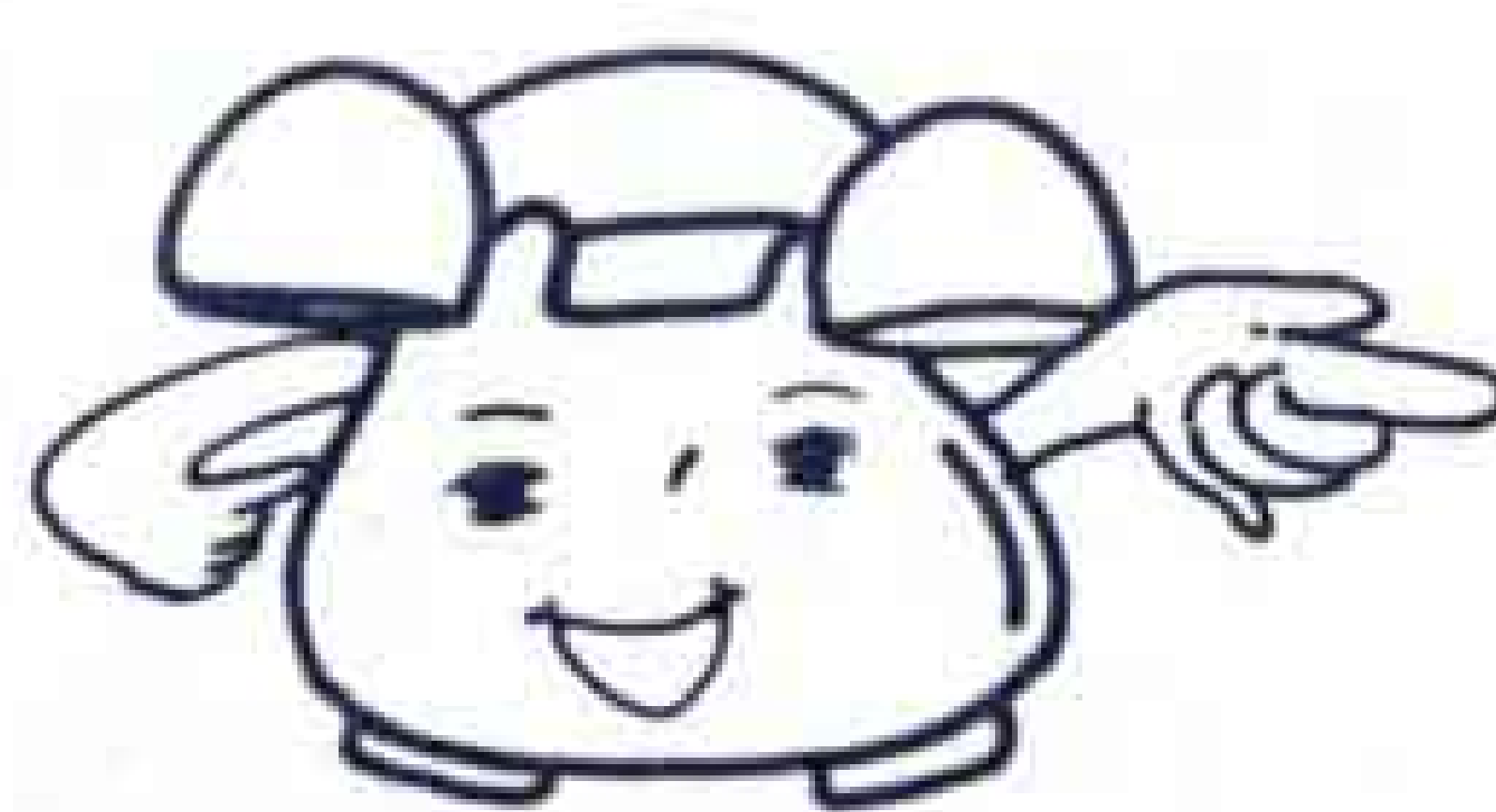




君の悩み 電話でどうぞ



相談ふじ開設

51-3741
ミナヨイ

子どものこと、学校での友人関係、進路のことなどで悩んでいる人。あなたの悩みや相談を電話でお受けします。

市青少年補導センターは、青少年の悩みや心配ごとを電話で相談できる「相談ふじ」を、7月中旬から開設します。

少年非行は第3のピーク

戦後第3のピークを迎えている青少年非行。これは、今まで最高だった昭和39年をはるかに上回っています。富士警察署によると、昨年一年間に市内では、3,043人の青少年が、不良行為として補導され、このうち、学生・生徒が1,252人(うち女子127人)で、全体の約41%を占めています。

また、最近の青少年非行の特徴として、窃盗及び横領といった、いわゆる「遊び型非行」の増加と、非行の低年齢化があげられています。

このように増えつづける青少年非行ですが、非行防止の大きなきめ手

のひとつとして、早期発見、早期治療があります。

非行の早期予防は、保護者の適切な助言と、本人の不満を受け入れる対応によって、かなり予防効果をあげることができます。

無言は深刻な相談の前ぶれ

非行の増加と同時に、自分の悩みや心配ごとを聞いてもらえる相手がいない、いわゆる「孤独型」の青少年も増えています。さらには、登校拒否や家庭内暴力などによる親の悩みも増加。

県教育委員会が行っている「ハロー電話」の55年度の利用状況をみると、1年間で1万8,999件の電話相談

がありました。

この内訳は、青少年からが8,334件、保護者からが5,378件、一般からが2,091件、無言が3,194件。この中で、無言は、深刻な相談の前ぶれとも理解できます。

青少年の内訳は、小学生753人、中学生4,902人、高校生1,591人、青年1,088人で、中学生が圧倒的に多くなっています。

相談内容と件数については、登校拒否が一番多く3,624件。次いで性格行動1,435件、身体・こころ1,341件、男女交際1,338件の順となっています。

青少年で一番多いのは、男子が性の問題、女子が友人関係。保護者の中では、登校拒否が圧倒的に多くなっています。



富士川での漁法を制限して

(おねがいします) 私は、アユの友釣りフアンの一人です。

しかし現在の富士川は、コゴシ・コゴシ釣り・コゴシ釣りの人が多く友釣りを行ってもアユではなく、川底に絡まっている掛釣りの仕掛けばかりに掛かり釣りになりません。

「コゴシ・コゴシ釣りを禁止してください」とは言いませんが、区域を設けていただきたいと思います。(一市民)

(おこたえします) 漁業法及び水産資源保護法などに関連して、静岡県には水産資源の保護培養、漁業取締り、漁業調整、漁業秩序の確立を期するための静岡県内水面漁業調整規則があります。

この規則により富士川も漁具・漁法について知事許可を必要とするもの、期間・区域、又は漁種・魚の体長などにより採捕を禁止されているものがあります。

掛釣りは知事の許可を要する漁で、この漁法での釣りは規則違反です。

市は、県から富士川漁道の管理を受託するについて富士川下流市町連絡会を設立し、魚族保護培養増進のため、一部区域の採捕禁止指定をしたほか、委嘱指導員を置いて下流域での違反採捕者に対する注意、指導を実施し、地域住民、釣愛好者のしたしめる自然環境の保全に対応していきます。(市農政課)

「相談ふじ」は7月中旬から

「相談ふじ」の電話受付は、7月中旬から行います。（日時が決まり次第、暮らしのたより、広報無線放送でお知らせします）

場所は、市役所西側の道路公園、西富士道路事務所跡地です。

（右側の地図参照）

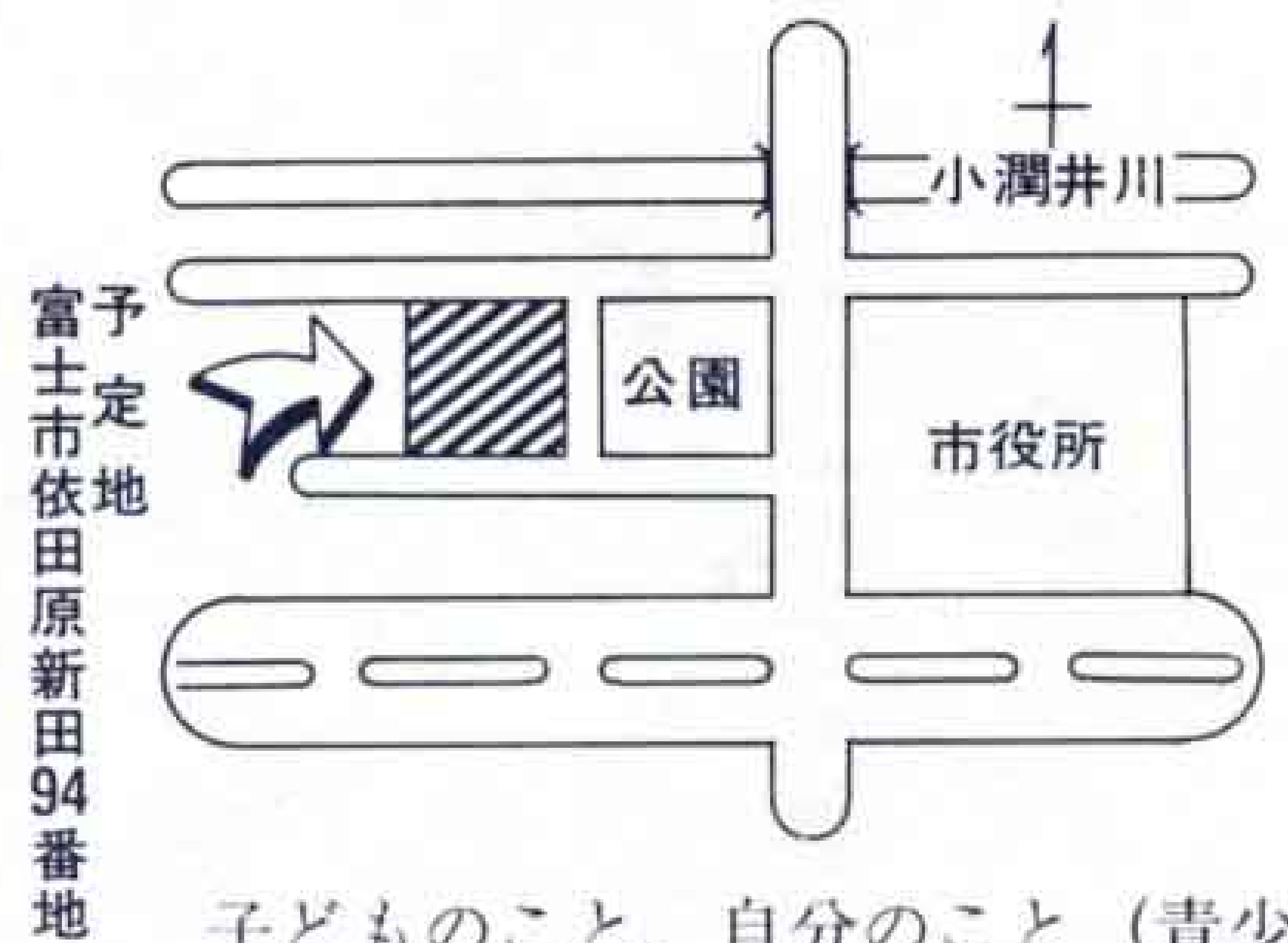
相談者の対象範囲は、小・中・高校生及び青少年とその親になります。

相談日は、月曜日から土曜日まで。

ただし、祝・祭日は休み。
受付時間は正午から夜8時まで。
相談には、教職経験者などのベテラン相談員が交替にあたります。

補導センターを誰もが気軽に利用できるように配慮するとともに、電話相談や面接相談を行うことによって、青少年の健全育成のための機能をさらに強化させようとするものです。青少年補導センターには、専門職員や相談員等が配置され充実をはかります。

電話等の相談業務開設予定地



富士市依田原新田94番地

子どものこと、自分のこと（青少年自身）で悩みや心配ごとがあったら、お気軽にダイヤルしてください。

「相談ふじ」は、信頼と触れあいを大切にし、心の支えになります。

街頭補導などを実施

7月は青少年を非行から守る強調月間

7月は「青少年を非行から守る強調月間」です。夏休みを迎えるこの時期は、青少年にとって何かと解放的となり、非行を起こしやすくなります。

次代を担う青少年を非行から守るためには、家庭・学校・職場はもとより、地域住民1人ひとりが協力し取り組まなければならない大切な問題です。

このようなことから、今年の運動の重点目標は、「①地域や家族間の触れ合いを深めよう。②有害図書・有害広告等の追放運動を推進しよう。③万引きを（しない・させない）運動を推進しよう。」です。また7月11日から17日までは富士市青少年健全育成強調週間として、富士市独自の

事業も推進します。

・青少年を非行から守る強調週間及び、富士市青少年健全育成強調週間の行事

| と き | 活 動 内 容 |
|----------------|--|
| 7月1日 | ・県下いっせい街頭呼びかけ ・早朝補導、大型店舗巡回補導 ・社会を明るくする運動街頭呼びかけ |
| 〃月4日 | ・県青少年非行防止総決起大会 |
| 〃月11日 〃 13日 | ・地区巡回広報活動（愛のパトロール車による呼びかけ運動） |
| 〃月14日 | ・万引き非行防止懇談会 |



昨年の社会を明るくする運動街頭パレード

| | |
|-------|---------------------------------|
| 〃 15日 | ・地区巡回広報活動 |
| 〃 16日 | ・有害環境の点検、市内パトロール特別啓発活動 |
| 〃 17日 | ・環境浄化愛の呼びかけ運動 ・県下いっせい青少年街頭補導 |
| 〃 30日 | ・県下いっせい立入検査 |

グループ訪問 ⑤4



プロフィール

創立は54年3月。部員は現在16人。練習は毎水曜日の午前中、厚原グラウンドで。25歳以上の婦人で腕に自信のある人はぜひ仲間。連絡先☎52-5359(秋山宅)

富士レディーズ



●監督を中心にチームワークの良さが自慢

創立四年目で念願の全国大会出場が決まった。来る八月二十七日、全国家庭婦人ソフトボール選手権大会が後楽園球場で開催される。先の東海四県の予選会で三位に入賞したからだ。
強いチームが目標。高校でソフト部に入っていたメンバーが多いこと、チームワークの良さが幸いしている。
「若さが保てるからと主人も協力的よ。」子供づれの主婦が笑いながら言った。